

—アモス8章・4-7、1ティモテ2章・1-8、ルカ16章・1-13—

(そのとき、イエスは弟子たちに言われた。)[「この世の子らは、自分の仲間に対して、光の子よりも賢くふるまっている。そこで、わたしは言うておくが、不正にまみれた富で友達を作りなさい。そうしておけば、金がなくなったとき、あなたがたは永遠の住まいに迎え入れてもらえる。ごく小さな事に忠実な者は、大きな事にも忠実である。ごく小さな事に不忠実な者は、大きな事にも不忠実である。だから、不正にまみれた富について忠実でなければ、だれがあなたがたに本当に価値あるものを任せようか。また、他人のものについて忠実でなければ、だれがあなたがたのものを与えてくれるだろうか。どんな召し使いも二人の主人に仕えることはできない。一方を憎んで他方を愛するか、一方に親しんで他方を軽んじるか、どちらかである。あなたがたは、神と富とに仕えることはできない。」 —ルカ16章—

真の豊かさ

富は私たちにとって好ましいものですが、それが生きる目的になると、魂にとって「大切なもの」を見落とし、人生の目的を誤って、滅びに至る「マンモン」となります。神と富とに仕えることはできませんいからです。

イエスが富を「不正な富」と言われるのは、富は、私たちが生きるための糧として感謝すべきものであるが、人が富を得たならば、富は蓄えるものではなくて、本来、分かち合うものであり、分かち合う事が、ごく小さなことに忠実な者は、大きなことにも忠実である者となって、神から「大切なもの」を任せられる、いわゆる不正にまみれた富に忠実な人が受ける報いに招くために他なりません。

私たちは食事をすると、わき目も触れず一心に食事を見つめて口に入

れるのではなく、周りの人への心配りも欲しいものです。

お母さんは、自分の腹よりも、子供たちがみんな喜んで感謝して食べてくれているかどうかを心配ります。

家庭の食卓は、世界の食卓の縮図です。神さまは、母親の心で世界の食卓を見つめておられ、飢えている子がいないかどうかと、私たちに心配らせておられるのです。

先日、テレビ番組で心慰められるホットなニュースを見ました。

米国の街中に150か所も冷蔵庫を設置し、『フードバンク』を始めたニュースでした。

余った食べ物捨てるのではなく、その冷蔵庫に誰でも保管でき、必要としている人、困っている人は誰でも無料で持つていくことが出来るので

す。食べ物だけでなく、冷蔵庫の横には、衣類や日用品を置く所も設置してありました。これこそ、本来、人を幸せにするためにある経済の在り方ではないかと思わされました。

世界が、この精神を持つならば、貧しさや欲に潰されず、平和な世界が実現するのではないかと！

2022年9月18日

主任司祭 昌川信雄

